



～地域の安心と安全を守るために～

大津市消防団

消防団員とは

消防団員は、消防職員と違い仕事をしながら、災害が発生すれば地域の中心となって活動を行う「地域のヒーロー」です。

○地域とのつながり

地域とのつながりが深く、地域のことに詳しいです。

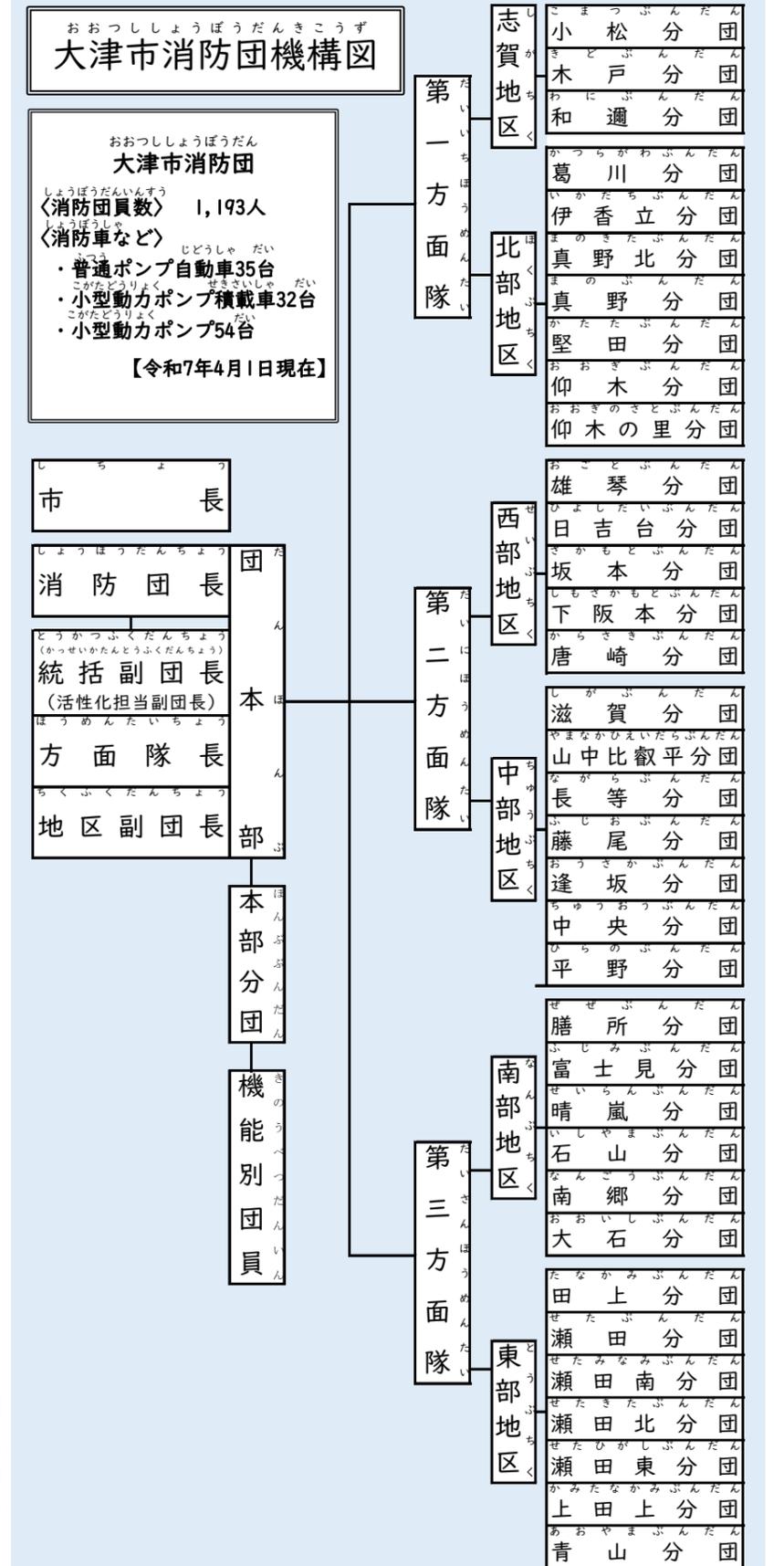
○素早い行動

災害などの学習をしているので、素早く行動できます。

○大人数で行動

たくさんの消防団員で災害活動にあたることができます。

阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大きな災害でも多くの消防団員が活動しています。消防団員は地域の中心となっているので、なくてはならない存在です。



大津市消防団

大津市消防団は、団本部と3方面隊に別れており、本部分団と6地区35分団で活動しています。

○活動実績

最近では、ゲリラ豪雨などの災害が発生し、平成24年の南部豪雨災害、平成25年の台風18号により大津市でも大きな被害を受けましたが、消防団員は命を守るため、懸命な活動を行いました。

消防団地域防災指導

大津市消防団では、専門的な学習を行った者を「消防団地域防災指導員」と名付け、防災を教える者として活動を行っています。

地域防災指導員はオレンジ色の腕章を付けています。



地域防災指導員

大津市消防団